

# ため池決壊の起こり方

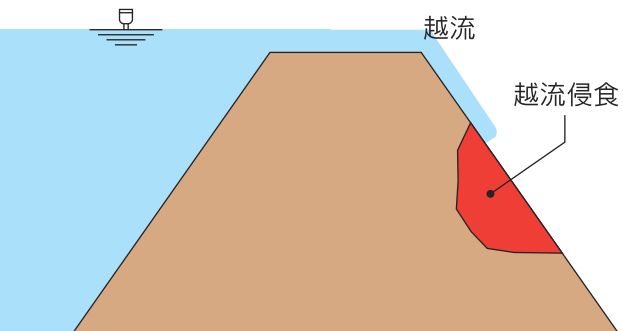
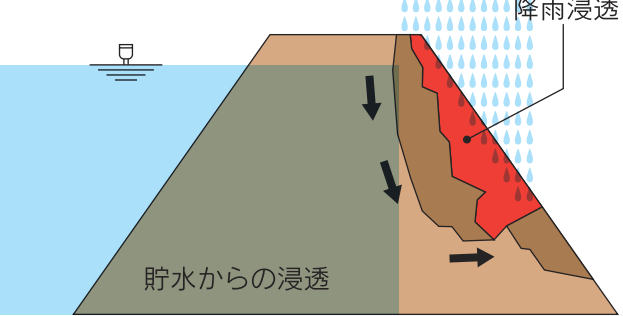
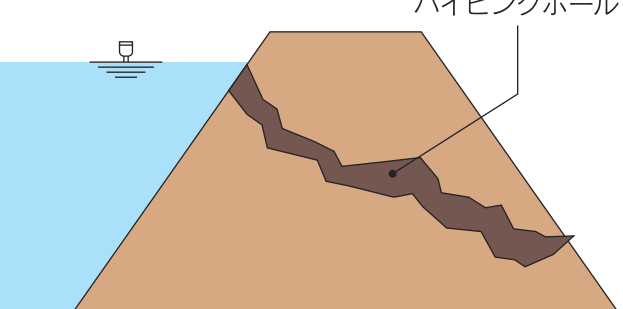
豪雨や地震により、ため池の堤体には池内に貯留している水が浸透するおそれがあります。

水が浸透すると、土の粒子の間に水が入り、土が移動しやすい状態となり堤体が弱くなります。

また、水が堤体を越流すると、流水そのものの影響で堤体が侵食され、決壊の要因となります。

豪雨や地震によるため池決壊の被災形態をそれぞれ次に示します。

## 豪雨による ため池の被災形態

| 区 分   | 被災形態                                                                                | 被災メカニズム                                                                                                           |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 越流破壊  |    | 豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流法面を流下することによって、法面が破壊される場合があります。<br>また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して堤体が破壊される場合があります。  |
| すべり破壊 |   | 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面ですべりが発生し堤体が破壊される場合があります。                                    |
| 浸透破壊  |  | 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して堤体が破壊される場合があります。<br>また、堤体内に上流から下流まで貫通した水みちが発生し堤体が破壊される場合があります。 |

## 水害時の注意点

### ■足元に注意

浸水すると足元が見えなくなり、側溝やマンホールに気付きにくくなるので、長い棒などを杖代わりにして歩きましょう。

### ■動きやすい服装で

ヘルメットで頭を保護し、運動靴をはきましょう。裸足・長靴は危険です。



### ■逃げ遅れた場合は

50cm以上浸水している場合や夜間の避難は非常に危険です。自宅の2階など高いところに避難して安全を確保してください。

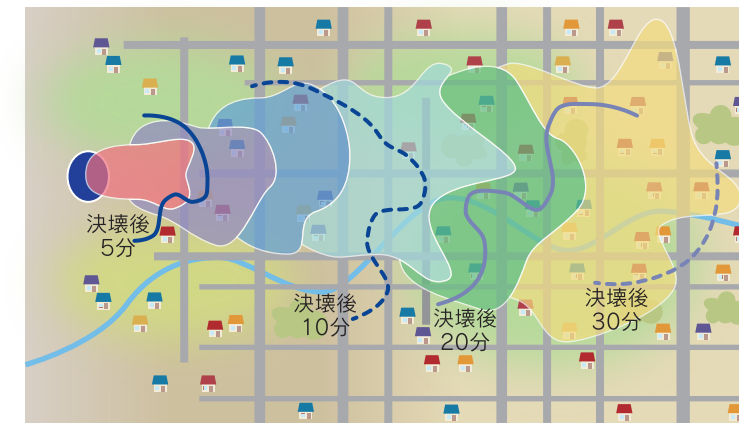
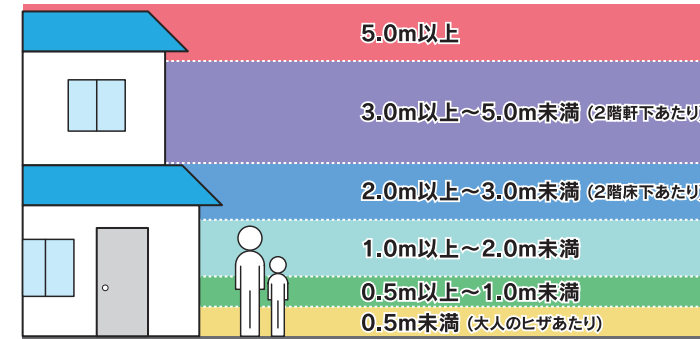


### ■その他の注意点

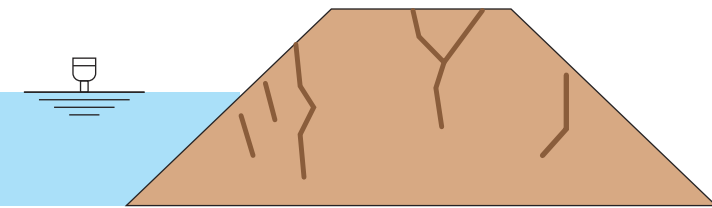
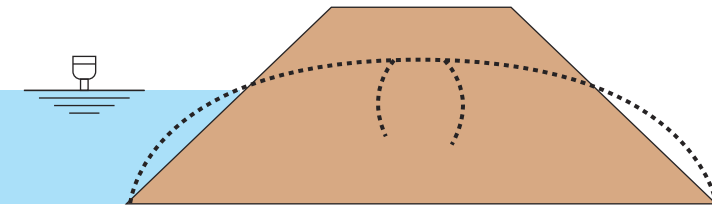
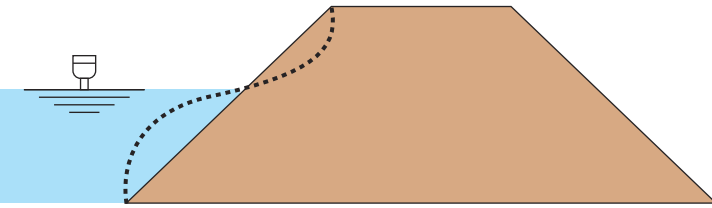
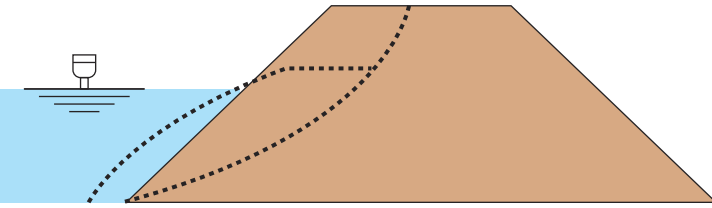
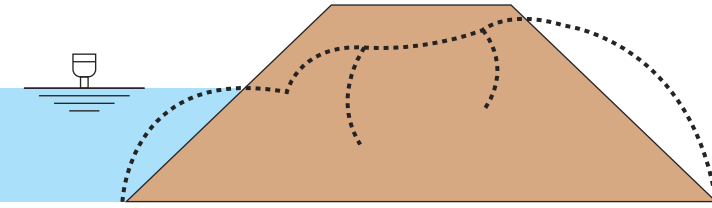
- 橋は渡らないようにしましょう。
- 大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。
- 冠水しやすい道路は通らないようにしましょう。

## ため池ハザードマップにおける表示内容

ため池が満水時に大規模地震や大雨によって決壊した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」および「決壊後の概ねの洪水到達時間」を示しています。



## 地震による ため池の被災形態

| 区 分   | 被災形態                                                                                  | 被災メカニズム                                                                  |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| クラック  |    | 堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。 |
| 沈 下   |    | 堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。             |
| 斜面崩壊  |   | 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。                                        |
| 斜面すべり |  | 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。                                             |
| 崩 壊   |  | 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。             |

## 地震時の注意点

### ■ラジオなどで正しい情報を入手

- 正しい情報をつかむ。
- 緊急連絡を優先。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。



### ■まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- 家具やガラス面から離れる。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。

### ■隣近所の安全確認

- 隣近所に声をかける。
- 余震に注意。
- ご近所に火が出ていたら初期消火。



### ■揺れがおさまったら、まず火の始末

- 脱出口を確保する。
- 家族の安全を確保する。
- 火元を確認する。
- 靴をはく。
- 非常持出品を用意する。